

平成26年度事業計画
ダイジェスト版

社会福祉法人 天童福祉厚生会
特別養護老人ホーム明幸園
明幸園ショートステイセンター
明幸園デイサービスセンター
明幸園ケアプランセンター
天童在宅介護支援センター「明幸園」



明幸園のロゴマークは、蝋封(ろうふう)のデザインです。ヨーロッパで重要な文書を封印する時に、蝋を垂らして紋章やイニシャルを押し付ける蝋封。大切な人に、大事な思いを伝えるときに用いたシーリングワックスをイメージしました。ケアという仕事は、サービスを利用される皆さんの、そしてご家族の、またケアする私たちの、いとおしい思いをつなげること、精神のリレーなのだと思います。蝋封された大切な手紙のように。

社会福祉法人 天童福祉厚生会

1 基本理念

介護保険施設・事業所の提供するサービスは、介護保険法に基づくものであり、当会の基本理念は介護保険法の精神を念頭に策定されたものです。

介護保険法に基づき指定を受けた当会の各施設・事業所は、介護保険法の目的を実現するため厚生省令「人員、設備及び運営に関する基準」の内容を遵守し、サービスの提供を行います。

また当会は利用者、家族、地域住民、そして福祉に関心をもつ人々の誰が見ても理解できる分かりやすいコンセプトを提案しながら、良質のサービス・ケアを提供していきたいと考えます。それが、三つの基本理念です。

- ◆人格・尊厳・自由を尊重し、安らかに、ゆたかに、自分らしく暮らせる生活を支援します。
※人格・尊厳・自由の尊重はサービス実践の基本原則、福祉職員の職業倫理。権利擁護・人権重視のサービス提供を目指し、利用者本位の生活を支える。
- ◆ホスピタリティー(おもてなしの心)を大切にご利用者が満足を得られる高品質なサービス提供に努めます。
※ホスピタリティーとはおもてなしの心。当たり前前の生活から心地よい生活へ、笑顔と優しさの支援に努める。利用者満足度(顧客満足度)を常に自ら提供するサービスの指標とし、良質なケアを提供する。
- ◆地域と市民のニーズに即したサービスの提供に努め、地域社会の一員として価値ある役割を果たします。
※社会福祉法人経営の施設として地域貢献し、地域社会における高齢者施設の拠点施設としての役割を果たす。

2 重点目標

- 1、地域密着型特別養護老人ホーム清幸園の建設
※ユニット型小規模特養 個室10床×2 20名定員
構造及び規模 ホーム本体 木造平屋建て 床面積約830㎡
渡り廊下 S造平屋建て 床面積約 28㎡
- 2、特別養護老人ホーム明幸園増改築工事付帯整備事業の実施(車寄せ、倉庫、外構工事)
- 3、高品質サービスの提供による、安定的、持続的経営基盤の強化

3 経営の基本方針

- ・法人の基本理念の下、介護サービス価値の最大化を図るとともに、地域の人々が最も必要とするサービスやスキルを提供する施設、事業所グループを目指します。
- ・利用者本位の経営と創造的で発展的な介護事業活動を通じて、地域社会に誠実に貢献し、社会福祉法人の社会的責任の遂行とコーポレートブランドの価値向上を目指します。
- ・良質なサービス提供のため、「顧客満足(CS)」「職員満足(ES)」「業績(MS)」のこの三つのバランスを大切にケアのパフォーマンス向上に努めます。

※コーポレートブランドとは、製品やサービスのブランドではなく、企業名そのものに対するブランドのこと。企業ブランドと呼ばれることも多い。コーポレートブランドは、その企業が持つイメージや信頼度からなり、企業の重要な競争力の源泉の一つとされます。「めいこうえん」というブランド価値をより高めることがこれからの重要な経営戦略となります。

3 中長期的計画

経営環境が急激に変化する中、社会のそして利用者の様々な要請に responding していくためには、本施設を取り巻く[※]ステークホルダーに対してしっかりと目を向け、偏りのないバランスの取れた経営を行うことが求められています。そのためには、三つの視点「社会に対する視点」「利用者に対する視点」「職員に対する視点」を持つことが必要です。社会に対する視点とはガバナンスとコンプライアンスの徹底、情報開示と適切な財務管理基盤の確立、地域の一員たる意識の醸成であり、利用者に対する視点は、ケアマネジメントサイクル・リスクマネジメントの構築、利用者の権利擁護、利用者主体のサービス提供のあり方、そして職員に対する視点とは、公正で適切な人事・労務管理、長期的な視点に立った職員育成。本施設のマネジメントに必要なこの三つの視点をベクトルとして、次の中・長期的計画を策定します。

※ステークホルダー：一般に企業に対して利害関係を持つ人のことをいう。利用者、消費者、地域社会などを含めていう。広義ではあらゆる関係者。

(1) 中期的計画

- ① 新型特養（個室ユニット型）経営の安定化
- ② 特別養護老人ホーム明幸園増改築工事付帯整備事業の実施、その監理
- ③ 改築後のデイサービスセンター、ショートステイセンター、事業経営の安定化
- ④ 財務的視点に基づいた目標管理に取り組む姿勢の醸成

(2) 長期的計画

- ① 地域福祉の視点に立ち、地域福祉のトータルニーズに対応できる組織の構築
- ② 市場原理を勝ち抜く戦略的基盤と夢のある高齢社会のビジョン作り
- ③ 事業性を基本に地域貢献や低所得者対策、高齢者虐待への対応といった地域社会における社会性を実体として伴う経営の確立

4 新“明幸園”リニューアルオープン、付帯整備事業の実施に係るスケジュール

平成26年	4月	1日	新規職員採用
	6月	1日	特養介護課 新業務シフトへ移行（16時間夜勤から8時間夜勤へ）
	6月	16日	増改築工事完成引渡し
	6月	22日	竣工式
	6月	27日	一般内覧会（27日、28日、29日）
	7月	2日	新特養明幸園リニューアルオープン
	7月～8月		特養既存建物解体工事
	9月～12月		改築工事付帯整備事業（車寄せ、倉庫、外構工事）

明幸園所管事業

1 明幸園におけるユニットケアの理念

小さな単位（＝ユニット）だからこそ、できること、気づくこと、^{*}ともに在ること

入居者一人ひとりの個性、好みと自分らしさ、今までの日々の営みを大切に、生活のペースを尊重した個別ケアを行う

*C・ロジャースのいうプレゼンスという意味、相手とともにいることへの誠実な態度のことです

ほい
～補遺～

新しい地図を描こう。たやすく効率性、合理性の世界にくみすることなく、新しい地図を描こう。

ケアとは双方向であるから、わたしたちのユニットケアは、わたしたち自身の自己実現の道標となる。

わたしたちの責任は、わたしたちのケアを利用する入居者、そしてその家族をはじめとする、すべてのステークホルダーに対するものである。個別のニーズに応えるため、わたしたちの行うすべての活動は質的に高い水準のものでなければならない。

わたしたちは、他の誰かと換えることのできないかけがえのない存在、特定の人としての個人の尊厳を保つために、自分の居場所である個室・共同生活室など住まいのしつらえ、セミパブリック・パブリックな空間を用意する。そうした環境によりプライバシーが守られ、他の利用者、地域との交流がはかられ、自己決定、リハビリテーションの可能性、生活習慣、暮らしへのこだわりを大切にしながら、介護が必要になってもあたりまえの生活を営み、望んでいる暮らしが送れるよう支援ケアする。

わたしたちは、『少数ケア体制を作る』『入居者が自分の住まいと思えるような環境をつくる』『今までの暮らしを続けられる暮らしをつくる』『24時間の暮らしを保障する仕組みをつくる』というユニットケアの4つのポイントに拠りながら、画一的・教条主義的な方法論を軽やかに解体し深化する努力を持続したい。そうありたい。この4つのポイントはまた、ターミナル期において、適切な医療の介入とともに、最期の、生の、終わりし道の^{しるべ}標となる。

2 目標とすべき経営指標（目標利用率等）

- ・特別養護老人ホーム明幸園 利用率96.5%
 ※平成24年度全国平均利用率95.4%（定員50～80では95.3%）
- ・ショートステイセンター 利用率94.4%
 ※平成24年度全国平均利用率89.1%（定員50～80併設事業所では89.0%）
- ・デイサービスセンター一般型 利用率80%
- ・デイサービスセンター認知症対応型 利用率80%
- ・ケアプランセンター マネジメント件数月122件
- ・天童市在宅介護支援センター 実態把握年間200件

3 対処すべき課題

◆特別養護老人ホーム明幸園

・ユニットケア理念の定着

安易に倫理観の合意形成をすすめたりせず、安っぽいユニットケア共同体の倫理観を疑ってみることからスタートするということだ。職員共通の意識と目標が浸透したチームというけど、そんな組織は本当に魅力的か？われわれは本当はてんでバラバラな老人観、ケア観を持っているのだ。それでよしとしてはいけないの？共通？浸透？そんなのは幻想です。コアの部分で老人を「無条件で了解する＝受容する」という、その一点で通底していれば、あとはぶれないリーダーがしっかりと仕事をする番なのです。魅力的な言説で、魅力的な空気感で、敵前逃亡せず（課題を前にしてという意味ですよ）、てんでバラバラな〇〇観を持つ皆さん方を圧倒するリーダーはどこにいますか？

対処すべき課題？まさに、リーダーは誰ですか？という問いかけと同義だと思うのです。

- ・快適な住まいの環境を整え、個人に目を向けたサービス提供にシフトします。個別ケアを実現する共通言語としての24時間シートを利活用し、徹底した利用者本位のアプローチを追求します。
- ・新規採用職員への育成プログラムの実践、スーパービジョンの展開など、多職種連携の下で包括的に人材育成をマネジメントします。
- ・本人の声、暮らしの姿からニーズを的確に見極め、生活の質をより高められるリハビリテーションを提供します。
- ・ノーリフトポリシーの普及

◆明幸園ショートステイセンター

- ・母体施設と連携を図り、空床利用と緊急ショートステイの受け入れを積極的にすすめます。また、居宅介護支援業者へ空床情報を定期的に発信し、新規利用者の確保や緊急利用の活用につなげていきます。
- ・居宅介護支援事業所からの問い合わせや相談には丁寧に対応し、新規の利用につなげていきます。また、相談支援事業所へ情報提供し、障がい短期入所の実稼働に繋げていきます。
- ・身体的、社会的機能の維持を基本として、居宅サービス計画に沿った個別援助計画を作成し、日々の変化に適切にアプローチします。OTによるアセスメントを生活場面に活かし、拘縮予防など在宅生活の支援につなげていきます。

◆明幸園デイサービスセンター

《一般型》

- ・普段から生活動作の見極めを行い利用者個々のIADLに注目した個別機能訓練加算Ⅱを算定し、利用者が居宅において可能な限り自立して暮らし続ける事を応援します。
- ・ロコモ予防への取り組み　ご自宅でも気軽に楽しく出来る体操を紹介します。
- ・通所サービスでの過ごし方を職員と一緒に考え個々のニーズに沿って「まだまだできる事への挑戦」のお手伝いをさせていただきます。
- ・本人理解や自己表出されない方へのアプローチを考えるツールとして「ひも解きシート」を活用しケアの標

準化を図ります。

《認知症対応型》

- ・パーソンセンタードケアの考えに基づき、認知症高齢者本人のその人らしさを最大限に発揮できる利用者本位のアプローチを追及していきます。

◆明幸園ケアプランセンター

- ・平成27年介護保険改定に向けてご利用者、ご家族の不安を軽減すべく正確な情報を発信します。
- ・住み慣れた地域において、その人らしい自立した日常生活を続けていけるよう自立支援を重視し、且つ本人や家族の思いを共有しながら、各種関係者と連携したプラン作りを行います。
- ・特定事業所加算事業所として、困難事例の受入れ、事業所内外の研修に参加し各自目標を掲げ自己研鑽を図っていきます。

◆天童市在宅介護支援センター明幸園

- ・多くの実績を持つ在宅介護支援センターとして、担当住民の利便性に配慮しながら相談を受け付け、必要に応じ地域包括支援センターへつなぐ、ランチとしての機能を発揮します。

介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム明幸園」完成図



- (1) 規模 定員100人(20床増床)
- (2) 構造 RC造2階建て 耐火建築物
- (3) 面積 建築面積3,194.76㎡ 床面積5,700.83㎡
- (4) 設備 個浴10室(椅子昇降機付ユニバーサルデザイン浴槽) / 臥位浴2室(エレベートバス)
置き床工法(二重床) / ヒートポンプ式エアコン